

秋月コミュニティ運営協議会だより

【第124号】令和3年7月1日発行

【発行者】

コミュニティ運営協議会

会長 三隅 浩一

☎ 25-0458

7月の主な行事

2日(金) 区会長会

3日(土) 秋月ウォーキング

詳細は右面⇒



6日(火) 刃物研ぎ

7日(水) 愛のネットワークおやつ配食

寿会理事会

資源ごみ・不燃ごみ収集日

8日(木) まちなみ相談 13:30~16:00

12日(月) コミュニティカフェ

14:00~16:00

15日(木) パソコン教室 詳細は右面⇒

18日(日) 休館日

19日(月) コミュニティカフェ

14:00~16:00



21日(水) 秋月学校 詳細は右面⇒

26日(月) お気軽料理サークル

詳細は右面⇒

コミュニティカフェ

14:00~16:00

30日(金) 月1カレー 詳細は右面⇒

※これらの行事は、新型コロナウイルス感染拡大状況により延期、または中止になる場合があります。



寿会清掃奉仕活動

5日(月) ◎中町・石原

12日(月) 新富

21日(水) 上野鳥

26日(月) 下野鳥・魚町

◎は杉ノ馬場清掃

秋月社会福祉協議会

泉 武 様

上田 正久 様

ご遺族様より社会福祉助成金として多額のご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに町民の皆様へお知らせいたします。

ご寄付

伊藤 富紗美 様

記念品として立派な秋月焼をご寄付いただきました。

厚く御礼申し上げますとともに町民の皆様にお知らせいたします。



秋月ウォーキング

★ 日 程 7月3日(土)

★ 時 間 午前10時~

★ 集合場所 第二町民広場

(旧秋月小学校プール跡)

健康づくり推進員では、健康増進のため町民の皆さんと一緒に秋月の町をウォーキングしています。お子さん、お孫さん達もさそって一緒にウォーキングしましょう。

なお、タオル・水筒など必要と思われるものは各自持参してください。



パソコン教室

★ 日 程 7月15日(木)

★ 時 間 午後1時30分~午後3時

★ 会 場 子ども文庫

受講の際は、お手持ちのノートパソコンをご持参ください。



お気軽料理サークル

★ 日 程 7月26日(月)

★ 時 間 午前10時~

★ 会 場 大広間

★ 負担金(材料費の一部) 300円

★ 締 切 7月20日(火) 午後5時



秋月学校

★ 日 程 7月21日(水)

★ 時 間 午後1時30分~

★ 会 場 大広間

本年度第一回目の秋月学校は、秋月氏について基本的な事柄の復習から、多くの方がご存じないような深い内容まで解説していただきます。講師は、いつも分かりやすく説明して下さる朝倉市秋月博物館学芸員 篠原浩之氏をお迎えする予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。



月1カレー

★ 日 程 7月30日(金)

★ 時 間 午前11時30分~午後1時

★ 会 場、子ども文庫

★ 一 皿 100円



県内3市のまんえん防止等重点措置も7月11日には解除される見込みですので、月1カレーを復活します。(ただし、感染状況によっては中止します。)

夏休みですので、幼稚園生から大学生のみなさんの参加も大歓迎です。お申込みの必要はありませんが、品切れの際はご容赦ください。またみんなで集う事が目的なので、お持ち帰りはできません。

朝倉市消防団 第十八分団

本年度4月より平均年齢50歳の新生朝倉市消防団第十八分団が活動を開始しました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため操法大会が中止になりましたが、毎月2回の定期点検と訓練を行い技術の向上に努めております。また、梅雨明け前の大雨に備え5月23日(日) 29日(土) 6月2日(水) 16日(水)土のう作りと配布を行いました。



避難について



ひなん
「避難」って
何すれば
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



行政が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等



安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると...)



流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります

地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと...)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。